

## 1. 概要

令和2年度の全国のシルバー人材センターの会員数は、「第2次100万人計画」のもと加入促進施策の全国的な展開を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により計画数を下回り、事業実績においてもこれまでの勢いにブレーキがかかった状況となりました。加えて改正高齢法への対応など新たな課題が発生するという状況下でも、センターがいかに地域に参画し貢献するかをふまえ、人手不足分野での就業開拓や地域実情に即したニーズへの対応など、地域における存在意識を高めていかなければなりません。

当センターでは、令和2年度も地域社会に貢献し、また期待されるべく様々な事業を展開するとともに、就業開拓並びに新規入会者の獲得に力を入れて参りました。

令和3年3月末の会員数は、731名で前年度同期(757名)に対し、26名(3.4%)の減。事業実績でも契約金額は341,659千円で前年度同期(376,187千円)に対し、34,528千円(9.2%)の減となりました。市民の皆様や各事業所のご理解、市をはじめとする関係団体のご協力を得たものの、全国と同様に厳しい結果となりました。

令和2年度事業計画に基づく結果については次のとおりです。

### 記

#### 1. 活力ある組織の確立

##### (1) 公益社団法人としての確かな組織運営、財政運営の確立(自主財源の確保)

各専門部会・委員会においては、目的を明確に掲げ活発な活動を行い各種施策へ反映することができた。

##### (2) 経営にあたる役員(理事等)の意識高揚の拡大

役員へは、センターの課題等を伝えるとともに、各種機関誌等を配布し意識高揚を図った。

##### (3) OJT(研修)による職員力意識の向上

事務局内で、朝のミーティングを行うなど各種の情報を共有するとともに、事務処理の共有化を進めた。

##### (4) 地域(地区・班)における会員相互の連携による活動の推進

地域班の連携を深めること及び地域活動推進ための施策として、各地域班が主体となりボランティア活動を実施した。

##### (5) 令和3年度から7年度までの中期事業計画の策定

専門部会協議を経て1月までに素案を策定し、1月の理事会にて承認された。

## 2 安全の徹底と適正就業の推進

### (1) 安全確保と事故防止に向けた安全パトロールの実施と指導強化

作業事故防止策として、前年度から取り組んでいたペナルティー制度を10月1日施行し、安全パトロール時における指導強化を図った。

### (2) 安全意識の高揚と徹底 「自分の安全は、自分で守る」

安全就業に関する研修会を7月と2月の2回開催し、高齢者ドライバーのための交通安全及び作業の安全意識を高めることができた。

### (3) 健康管理のための研修充実と健康診断受診の奨励

安全研修会において健康管理講座を実施し、会員の安全・適正就業、健康管理への意識を高めた。

### (4) 派遣運転業務における就業前安全チェックの徹底確認

派遣業務における自動車運転については、職場での事前チェックを徹底させている。また、新規入職時には研修を実施し、安全運転意識を高めている。

## 3 就業機会の拡大と会員力の向上

年間目標契約金額 380,000 千円に対し実績は 341,659 千円で、38,341 千円 (10.1%) の減となった。

### (1) 会員のスキルアップ、ニーズに合った研修講座の開催

草刈機取扱い、チェーンソー取扱い、調理補助、子育て支援員養成、PCインストラクター養成講習会等を実施し、会員のスキルアップを図った。

### (2) 身近なメディアを活用した就業確保のPR

地域FMラジオやケーブルテレビ、新聞折込チラシ等により広報啓発活動を実施し、会員獲得及び事業獲得に努めた。

### (3) 地域のイベント等を活用したセンター事業のPR

新型コロナウイルス感染拡大に伴いほとんどの地域行事が中止となったが、各地域においてボランティア清掃等を行い地域貢献をPRすることができた。

### (4) 業務拡大による就業機会の拡大

4月1日から派遣業務拡大が可能(週20時間未満→週40時間未満)となり、1事業所の1名が対象となった。

(5) 職群班の充実と後継者の育成

後継者育成のための職群班での会議を行う一方企業にも協力を仰ぎ、センター会員の技術指導を兼ねた派遣事業を実施した。

4 会員の拡大

年度末目標会員数 786 人に対し実績は 731 人で達成率は 93%となった。

(1) 身近なメディア及び会員のアイデアを活用した、継続した PR の展開

地元ケーブルテレビ等で会員が制作した PR ビデオを活用し、会員拡大を図った。

(2) 女性会員の加入促進 (男女比 38% 目標年度令和 6 年度)

今年度の女性新入会者数は 36 名で、全体の女性会員数は 230 名となった。

女性会員増加策として、女性会員による魅力あるセンターづくりへの研究を継続実施した。

年度末女性会員割合は 31.5%で、前年度末 (32.0%) より 0.5 ポイント減少した。

(3) ホームページの活用及び内容の充実

最新情報や会員向け情報の掲載が不十分であったため、今後も内容の充実に努める。

(4) 一般市民向けの各種講習会の開催

一般市民向けのパソコン講習会を実施し、受講終了後入会説明会を行うことで 7 名が入会した。また、子育て支援員養成講習を市の委託事業として実施したところ 70 名の参加者があり、当センターの事業を啓発することができた。

(5) 一人一会員の実施

入会説明会参加者のアンケートからも会員からの声掛けが最も効果的であるという結果が出ており、今後も会員には声掛けをお願いしたい。また、新規会員獲得策の一つとして夫婦会員の加入に着目し、制度研究を行った。

5 社会奉仕活動等

(1) 地域社会の一員としてのボランティア活動への参加の充実

10 月に市内公園 2 か所でボランティア活動を実施した (84 名参加)。

3 月に各地域班が主体となつての地域ボランティア活動を行った (160 名参加)。

(2) 互助会と連携した事業(行事)の検討

互助会活動の計画・実施に協力し、会員相互の交流を深めることができた。

(3) 環境事業(剪定くず処理等)に関わる調査研究の継続

剪定くず等の再利用化研究を継続して実施し、環境に配慮した事業運営を行った。